

水産用医薬品の使用に関する取扱要領（鹿児島県版）

（目的）

第1条 本要領は、水産用医薬品の使用に関する記録及び水産用抗菌剤の取扱いについて（平成29年4月3日付け28消安第5781号）農林水産省消費・安全局長通知（以下、「通知」という。）を踏まえ、本県における、水産用医薬品の使用に関する記録及び水産用抗菌剤の取扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

（定義等）

第2条 本要領における語句の定義等は以下のとおりとする。

- 2 水産用医薬品とは、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号。以下、「医薬品医療機器等法」という。）第83条の2第1項の動物用医薬品のうち、食用に供するために養殖されている水産動物のために使用することを目的とするものをいう。
- 3 水産用抗菌剤とは、水産用医薬品のうち抗菌性物質製剤のことをいう。
- 4 養殖業者等とは、食用に供するための水産動物を養殖している者（動物用医薬品等取締規則（平成16年農林水産省令第107号）第24条第4項）をいう。なお、放流水産動物の生産業者も含む。
- 5 動物用医薬品販売業者とは、医薬品医療機器等法第24条第1項の許可を受けた者のうち、動物用医薬品を販売する者をいう。
- 6 薬事監視員とは、医薬品医療機器等法第76条の3第1項の薬事監視員をいう。
- 7 専門家とは、持続的養殖生産確保法第13条第1項の魚類防疫員若しくは同条第2項の魚類防疫協力員又は獣医師とする。
- 8 前項の専門家のうち、魚類防疫協力員が所属する機関（以下、「専門家機関」という。）と魚類防疫員の情報は表1、2のとおりとする。
- 9 指導機関は、鹿児島県水産技術開発センターとする。

（水産用医薬品の使用に関する記録について）

- 第3条 養殖業者等が水産用医薬品を使用したときに、動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令（平成25年農林水産省令第44号。以下「使用規制省令」という。）第4条の規定により同条各号に掲げる事項を記載する帳簿の様式は、別記様式第1号（以下「使用記録票」という。）のとおりとする。
- 2 養殖業者等は、水産用医薬品を使用したときは、使用記録票による記載を徹底するとともに、使用記録票を2年間保存する。

（水産用抗菌剤の取扱いについて）

第4条 養殖業者等が水産用抗菌剤を購入するために専門家機関に対して申請する場合は、以下の申請書類を提出する。

- （1）水産用抗菌剤使用指導書交付申請書（別記様式第2号。以下「申請書」という。）

- (2) これまでに使用した水産用医薬品を記載した使用記録票の写し又は農林水産省の水産防疫対策事業において作成する水産用医薬品の使用状況調査報告の写し
- 2 申請書類の提出先は、魚類防疫員に提出する場合は、原則として自身の住所を管轄する専門家機関宛てに、魚類防疫協力員に提出する場合は自身が所属する専門家機関（漁業協同組合）宛てとする。ただし、専門家機関のうち、水産技術開発センター及び県商工労働水産部水産振興課については、鹿児島県内に住所を有する養殖業者等であれば誰でも提出することができる。
 - 3 申請を受けた専門家機関は、申請書類の内容を確認のうえ、水産用抗菌剤使用指導書（別記様式第3号。以下「使用指導書」という。）を交付するとともに、当該申請書に記載された水産用抗菌剤の適切な使用を指導する。
 - 4 養殖業者等は、動物用医薬品販売業者に対し、使用指導書の写しを提出したうえで、水産用抗菌剤を購入する。
 - 5 予期せぬ疾病の発生等に対処するため緊急を要し、専門家機関に対して申請書を提出する余裕がなく、又は申請書を提出しても使用指導書の交付を待つことができない場合は、養殖業者等は、水産用抗菌剤使用指導書に関する理由書（別記様式第4号。以下「理由書」という。）を動物用医薬品販売業者に提出し、水産用抗菌剤を購入する。

（関係者の役割・責務等）

第5条 前条までに定めるもののほか、当該制度に係る関係者の役割・責務等は以下のとおりとする。

- 2 薬事監視員は、動物用医薬品販売業者に対し、以下の事項を指導する。
 - (1) 使用指導書の写しを提出した養殖業者等に当該使用指導書に従って水産用抗菌剤を販売すること。
 - (2) 使用指導書の写し、理由書及び水産用抗菌剤使用指導書に関する報告書（別記様式第5号。以下「報告書」という。）の写しを2年間保存すること。
- 3 動物用医薬品販売業者は、理由書により水産用抗菌剤を販売した時は、報告書に理由書の写しを添えて指導機関の長に報告する。
- 4 専門家機関は、使用記録票の写し、申請書の写し及び当該交付した使用指導書の写しを指導機関の長に提出する。
- 5 指導機関の長は、使用記録票の写し、申請書の写し、使用指導書の写し、理由書の写し及び報告書を2年間保存するとともに、それらの写しを薬事監視員に提供する。
- 6 第3項から第5項の報告、提出の期限等は表3のとおりとする。
- 7 水産振興課は本取扱要領を統括し、必要に応じて県のHPに掲載する。

附則

この要領は、平成30年4月1日から施行する。

表1 協力員が所属する漁業協同組合における申請窓口（魚類防疫協力員）

| 専門家の所属する漁協名 | 対象となる養殖業者 |
|---------------|--------------|
| 東町漁業協同組合 | 東町漁協組合員 |
| 牛根漁業協同組合 | 牛根漁協組合員 |
| 垂水市漁業協同組合 | 垂水市漁協組合員 |
| 鹿屋市漁業協同組合 | 鹿屋市漁協組合員 |
| ねじめ漁業協同組合 | ねじめ漁協組合員 |
| 内之浦漁業協同組合 | 内之浦漁協組合員 |
| 高山漁業協同組合 | 高山漁協組合員 |
| 大隅地区養まん漁業協同組合 | 大隅地区養まん漁協組合員 |

表2 表1以外の申請窓口（魚類防疫員）

| 専門家の所属する機関名 | 管轄する区域 |
|---|---|
| 鹿児島地域振興局農林水産部 林務水産課 (鹿児島市小川町3-56) | 鹿児島市, 日置市, いちき串木野市, 三島村, 十島村 |
| 南薩地域振興局農林水産部 林務水産課 (南さつま市加世田東本町8-13) | 南さつま市, 指宿市, 枕崎市, 南九州市 |
| 北薩地域振興局農林水産部 林務水産課(出水市駐在) (出水市昭和町18-18) | 出水市, 阿久根市, 薩摩川内市, さつま町, 長島町 |
| 始良・伊佐地域振興局農林水産部林 務水産課 (始良市加治木町諏訪町12) | 伊佐市, 湧水町, 霧島市, 始良市 |
| 大隅地域振興局農林水産部 林務水産課 (鹿屋市打馬2-16-6) | 曾於市, 志布志市, 垂水市, 鹿屋市, 大崎町, 東串良町, 肝付町, 錦江町, 南大隅町 |

| | |
|----------------------------------|--|
| 熊毛支庁農林水産部林務水産課 (西之表市西之表7590) | 西之表市, 中種子町, 南種子町, 屋久島町 |
| 大島支庁農林水産部林務水産課 (奄美市名瀬永田町17-3) | 奄美市, 龍郷町, 大和村, 宇検村, 瀬戸内町, 喜界町, 徳之島町, 天城町, 伊仙町, 和泊町, 知名町, 与論町 |
| 水産技術開発センター (指宿市岩本字高田上160-10) | 県下全域 |
| 県商工労働水産部水産振興課 (鹿児島市鴨池新町10-1) | 県下全域 |

表3 報告, 提出の期限等

| 報告者 | 提出先 | 書類の内訳 | 提出等期限 |
|----------------|------------|--|--------------------------------------|
| 専門家所属 機関の長 | 指導機関の 長 | 使用記録票(写), 申請書(写), 使用指導書(写) 各1通 | 1月から始まる四半期 (3ヶ月)分をまとめて 翌月の末まで |
| 動物用医薬 品販売業者 | 指導機関の 長 | 報告書及び理由書 (FAX等による送信) | 販売後, 速やかに |
| | | 報告書(原本), 理由書(写) 各1通 | 1月から始まる四半期 (3ヶ月)分をまとめて 翌月の末まで |
| 指導機関の 長 | 薬事監視員 | 使用記録票(写), 申請書(写) 使用指導書(写), 理由書(写) 報告書(写) 各1通 | 1月から始まる四半期 (3ヶ月)分をまとめて 翌々月の末まで |

水産用医薬品の使用記録票

| 使用年月日 | 使用場所 (池名、生け簀名) | 魚種名 | 疾病名 (発生日も記載) | 推定尾数 | 平均魚体重 | 使用医薬品名 | 使用方法 | 使用量 | 水揚げできる 年月日 | 備考 | 水揚げ年月日 |
|--|-------------------|-----|-----------------|------|-------|---------|------|-----|---------------|-------------------|----------|
| ～ | | | | | | | | | | | |
| ～ | | | | | | | | | | | |
| ～ | | | | | | | | | | | |
| ～ | | | | | | | | | | | |
| ～ | | | | | | | | | | | |
| (例1) 平成○年○月○日 ～ 平成○年○月○日 (連続投与の場合) | XXX | ぶり | XXXX病 | XXXX | XXXg | 水産用△△△散 | 飼料添加 | XXg | 平成×年×月×日 | 下記⑥⑦に該当 する場合記載 | 平成△年△月△日 |
| (例2) 平成○年○月○日 ～ (単回投与の場合) | XXX | うなぎ | XXXX病 | XXXX | XXXg | 水産用△△△散 | 飼料添加 | Xg | 平成×年×月×日 | 下記⑥⑦に該当 する場合記載 | 平成△年△月△日 |

① 「使用医薬品名」については、使用した医薬品の品目名を記載してください。

② 「使用方法」については、「飼料添加」、「薬浴」等の別を記載してください。

③ 「使用量」については、使用した医薬品の投与量であるか、有効成分の投与量であるかがわかるように記載してください。

④ 「水揚げできる年月日」については、動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令(平成25年農林水産省令第44号。以下「省令」という。)の別表第1及び別表第2に基づき医薬品を使用した場合は、使用禁止期間を確認した上、使用日の翌日から起算し、その期間の最終日の翌日を記載してください。休薬期間の定められた医薬品も同様です。

⑤ 省令第5条に規定されている出荷制限期間指示書により医薬品を使用した場合は、出荷制限期間を確認した上、使用日の翌日から起算し、その期間の最終日の翌日を記載してください。

⑥ 省令の別表第1及び別表第2で飼育水の交換率が定められている動物用医薬品については、水揚げ前一定期間の飼育水の交換率を備考欄に記載してください。

⑦ 獣医師の指示により省令の別表第3の動物用医薬品の欄に掲げる動物用医薬品を使用した場合にあっては、水揚げし、又は出荷してはならない旨を備考欄に記載してください。

別記様式第 2 号

水産用抗菌剤使用指導書交付申請書（鹿児島県版：海面養殖）

平成 年 月 日

- ○支庁林務水産課長 殿
- 地域振興局林務水産課長 殿
- 鹿児島県水産技術開発センター所長 殿
- 鹿児島県水産振興課長 殿
- 漁業協同組合代表理事組合長 様

下記のとおり、水産用抗菌剤使用指導書の交付を申請します。

なお、水産動物に抗菌剤を使用するに当たっては、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和 35 年法律第 145 号）第 52 条第 1 項で規定されている医薬品に添付されている文書又はその容器若しくは被包に記載されている事項及び動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令（平成 25 年農林水産省令第 44 号）第 2 条で規定されている動物用医薬品の使用者が遵守すべき基準を遵守し、適正に使用します。

記

- 1 養殖業者等名：（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） ㊞
- 2 住所：（水産用抗菌剤の使用の対象となる水産動物を養殖する施設等の住所）
電話番号：
- 3 使用を希望する水産用抗菌剤についての情報
（①②③について該当箇所の□を塗りつぶしてください：複数回答可）

| ①使用したい 水産用抗菌剤の名称 | ②水産用抗菌剤の使用の対象となる 水産動物の種類 | ③水産用抗菌剤の使用の対象となる 水産動物の疾病 |
|--|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> アンピシリン | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 類結節症 |
| <input type="checkbox"/> ホスホマイシンカルシウム | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 類結節症 <input type="checkbox"/> エドワジエラ症 |
| <input type="checkbox"/> チアンフェニコール | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 類結節症 <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| <input type="checkbox"/> フロルフェニコール | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 類結節症 <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 |
| <input type="checkbox"/> エリスロマイシン | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 |
| <input type="checkbox"/> 塩酸リンコマイシン | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 |
| <input type="checkbox"/> 塩酸ドキシサイクリン | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 |
| <input type="checkbox"/> アルキルトリメチルアンモニウム カルシウムオキシテトラサイクリン | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| | <input type="checkbox"/> かれい目魚類 | <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 |
| <input type="checkbox"/> 塩酸オキシテトラサイクリン | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| | <input type="checkbox"/> にしん目魚類（海水養殖） | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| | <input type="checkbox"/> かれい目魚類 | <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 |
| | <input type="checkbox"/> ふぐ目魚類 | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| <input type="checkbox"/> オキシリン酸 | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 類結節症 |
| | <input type="checkbox"/> にしん目魚類（海水養殖） | <input type="checkbox"/> せつそう病 <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| <input type="checkbox"/> オキシリン酸（懸濁水性剤） | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 類結節症 |
| <input type="checkbox"/> スルファモノメトキシン又は そのナトリウム塩 | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 <input type="checkbox"/> ノカルジア症 |
| | <input type="checkbox"/> にしん目魚類（海水養殖） | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| <input type="checkbox"/> スルフィゾールナトリウム | <input type="checkbox"/> ぶり | <input type="checkbox"/> 類結節症 <input type="checkbox"/> ビブリオ病 <input type="checkbox"/> ノカルジア症 |
| <input type="checkbox"/> () | <input type="checkbox"/> () | <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () |

別記様式第2号

水産用抗菌剤使用指導書交付申請書（鹿児島県版：内水面養殖）

平成 年 月 日

- ○支庁林務水産課長 殿
- 地域振興局林務水産課長 殿
- 鹿児島県水産技術開発センター所長 殿
- 鹿児島県水産振興課長 殿
- 漁業協同組合代表理事組合長 様

下記のとおり、水産用抗菌剤使用指導書の交付を申請します。

なお、水産動物に抗菌剤を使用するに当たっては、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）第52条第1項で規定されている医薬品に添付されている文書又はその容器若しくは被包に記載されている事項及び動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令（平成25年農林水産省令第44号）第2条で規定されている動物用医薬品の使用者が遵守すべき基準を遵守し、適正に使用します。

記

- 1 養殖業者等名：（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） ㊞
- 2 住所：（水産用抗菌剤の使用の対象となる水産動物を養殖する施設等の住所）
電話番号：
- 3 使用を希望する水産用抗菌剤についての情報
（①②③について該当箇所の□を塗りつぶしてください：複数回答可）

| ①使用したい水産用抗菌剤の名称 | ②水産用抗菌剤の使用の対象となる水産動物の種類 | ③水産用抗菌剤の使用の対象となる水産動物の疾病 |
|---------------------------|-------------------------|-------------------------|
| □ フロルフェニコール | □ にしん目魚類（淡水魚養殖：あゆを除く） | □ セツソウ病 □ ビブリオ病 |
| | □ うなぎ目魚類 | □ パラコロ病 |
| | □ あゆ | □ ビブリオ病 |
| □ 塩酸オキシテトラサイクリン | □ にしん目魚類（淡水魚養殖：あゆを除く） | □ セツソウ病 □ ビブリオ病 □ 連鎖球菌症 |
| | □ うなぎ目魚類 | □ パラコロ病 |
| □ オキシリン酸 | □ にしん目魚類（淡水魚養殖：あゆを除く） | □ セツソウ病 □ ビブリオ病 |
| | □ うなぎ目魚類 | □ 鰭赤病 □ 赤点病 □ パラコロ病 |
| | □ こい目魚類 | □ エロモナス病 |
| | □ あゆ | □ ビブリオ病 |
| □ オキシリン酸（薬浴剤） | □ うなぎ | □ パラコロ病 |
| | □ あゆ | □ ビブリオ病 |
| □ スルファモノトキシン又はそのナトリウム塩 | □ にしん目魚類（淡水魚養殖：あゆを除く） | □ セツソウ病 □ ビブリオ病 |
| | □ うなぎ目魚類 | □ 鰭赤病 |
| | □ あゆ | □ ビブリオ病 |
| □ スルファモノトキシンナトリウム（薬浴剤） | □ にしん目魚類（淡水魚養殖：あゆを除く） | □ セツソウ病 □ ビブリオ病 |
| □ スルファモノトキシン及びオルメトプリムの配合剤 | □ うなぎ目魚類 | □ パラコロ病 |
| | □ あゆ | □ ビブリオ病 |
| □ スルフィゾールナトリウム | □ にじます □ あゆ | □ ビブリオ病 □ 冷水病 |
| | □ こい | □ カラムナリス病 |
| □ () | □ () | □ () □ () □ () |

別記様式第3号

水産用抗菌剤使用指導書（鹿児島県版：海面養殖）

交付番号：〇〇〇〇第 号
 交付年月日：平成 年 月 日
 （有効期限：交付年月日より1年間）

- 1 養殖業者等名：（法人にあっては、名称及び代表者氏名）
- 2 住所：（養殖施設の住所）
- 3 指導内容（①使用可能な水産用抗菌剤，②水産動物の種類，③水産動物の疾病）

| ①使用したい 水産用抗菌剤の名称 | ②水産用抗菌剤の使用の対象となる 水産動物の種類 | ③水産用抗菌剤の使用の対象となる 水産動物の疾病 |
|--|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> アンピシリン | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 類結節症 |
| <input type="checkbox"/> ホスホマイシンカルシウム | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 類結節症 <input type="checkbox"/> エドワジエラ症 |
| <input type="checkbox"/> チアンフェニコール | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 類結節症 <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| <input type="checkbox"/> フロルフェニコール | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 類結節症 <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 |
| <input type="checkbox"/> エリスロマイシン | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 |
| <input type="checkbox"/> 塩酸リンコマイシン | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 |
| <input type="checkbox"/> 塩酸ドキシサイクリン | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 |
| <input type="checkbox"/> アルキルトリメチルアンモニウム カルシウムオキシテトラサイクリン | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| | <input type="checkbox"/> かわいい目魚類 | <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 |
| <input type="checkbox"/> 塩酸オキシテトラサイクリン | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| | <input type="checkbox"/> にしん目魚類（海水養殖） | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| | <input type="checkbox"/> かわいい目魚類 | <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 |
| | <input type="checkbox"/> ふぐ目魚類 | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| <input type="checkbox"/> オキシリン酸 | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 類結節症 |
| | <input type="checkbox"/> にしん目魚類（海水養殖） | <input type="checkbox"/> セッソウ病 <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| <input type="checkbox"/> オキシリン酸（懸濁水性剤） | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> 類結節症 |
| <input type="checkbox"/> スルファモノメトキシシン又は そのナトリウム塩 | <input type="checkbox"/> すずき目魚類 | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 <input type="checkbox"/> ノカルジア症 |
| | <input type="checkbox"/> にしん目魚類（海水養殖） | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| <input type="checkbox"/> スルフィゾールナトリウム | <input type="checkbox"/> ぶり | <input type="checkbox"/> 類結節症 <input type="checkbox"/> ビブリオ病 <input type="checkbox"/> ノカルジア症 |
| <input type="checkbox"/> () | <input type="checkbox"/> () | <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () |

○水産用抗菌剤を使用する際は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年法律第145号)第52条第1項で規定されている医薬品に添付されている文書又はその容器若しくは被包に記載されている事項及び動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令(平成25年農林水産省令第44号)第2条で規定されている動物用医薬品の使用者が遵守すべき基準を守って、適正に使用してください。

○疾病の原因となる細菌の薬剤感受性を確認し、有効な抗菌剤を使うことが、抗菌剤を末永く使っていく上で重要です。

住所：
 電話番号：
 所属機関名：〇〇支庁・〇〇地域振興局林務水産課長 ㊦
 鹿児島県水産技術開発センター所長 ㊦
 鹿児島県水産振興課長 ㊦
 （魚類防疫員：〇〇 〇〇）
 〇〇漁業協同組合代表理事組合長 ㊦
 （魚類防疫協力員：〇〇 〇〇）

別記様式第3号

水産用抗菌剤使用指導書（鹿児島県版：内水面養殖）

交付番号：〇〇〇〇第 号
 交付年月日：平成 年 月 日
 (有効期限：交付年月日より1年間)

- 1 養殖業者等名：（法人にあっては、名称及び代表者氏名）
- 2 住所：（養殖施設の住所）
- 3 指導内容（①使用可能な水産用抗菌剤，②水産動物の種類，③水産動物の疾病）

| ①使用可能な水産用抗菌剤の名称 | ②水産動物の種類 | ③水産動物の疾病 |
|-----------------------------|---|--|
| □ フロルフェニコール | <input type="checkbox"/> にしん目魚類（淡水魚養殖：あゆを除く） | <input type="checkbox"/> セツそう病 <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| | <input type="checkbox"/> うなぎ目魚類 | <input type="checkbox"/> パラコロ病 |
| | <input type="checkbox"/> あゆ | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| □ 塩酸オキシテトラサイクリン | <input type="checkbox"/> にしん目魚類（淡水魚養殖：あゆを除く） | <input type="checkbox"/> セツそう病 <input type="checkbox"/> ビブリオ病 <input type="checkbox"/> 連鎖球菌症 |
| | <input type="checkbox"/> うなぎ目魚類 | <input type="checkbox"/> パラコロ病 |
| □ オキシリン酸 | <input type="checkbox"/> にしん目魚類（淡水魚養殖：あゆを除く） | <input type="checkbox"/> セツそう病 <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| | <input type="checkbox"/> うなぎ目魚類 | <input type="checkbox"/> 鱸赤病 <input type="checkbox"/> 赤点病 <input type="checkbox"/> パラコロ病 |
| | <input type="checkbox"/> こい目魚類 | <input type="checkbox"/> エロモナス病 |
| | <input type="checkbox"/> あゆ | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| □ オキシリン酸（薬浴剤） | <input type="checkbox"/> うなぎ | <input type="checkbox"/> パラコロ病 |
| | <input type="checkbox"/> あゆ | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| □ スルファモノメトキシシン又はそのナトリウム塩 | <input type="checkbox"/> にしん目魚類（淡水魚養殖：あゆを除く） | <input type="checkbox"/> セツそう病 <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| | <input type="checkbox"/> うなぎ目魚類 | <input type="checkbox"/> 鱸赤病 |
| | <input type="checkbox"/> あゆ | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| □ スルファモノメトキシシンナトリウム（薬浴剤） | <input type="checkbox"/> にしん目魚類（淡水魚養殖：あゆを除く） | <input type="checkbox"/> セツそう病 <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| □ スルファモノメトキシシン及びオルメトプリムの配合剤 | <input type="checkbox"/> うなぎ目魚類 | <input type="checkbox"/> パラコロ病 |
| | <input type="checkbox"/> あゆ | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 |
| □ スルフィゾールナトリウム | <input type="checkbox"/> にじます <input type="checkbox"/> あゆ | <input type="checkbox"/> ビブリオ病 <input type="checkbox"/> 冷水病 |
| | <input type="checkbox"/> こい | <input type="checkbox"/> カラムナリス病 |

○水産用抗菌剤を使用する際は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年法律第145号)第52条第1項で規定されている医薬品に添付されている文書又はその容器若しくは被包に記載されている事項及び動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令(平成25年農林水産省令第44号)第2条で規定されている動物用医薬品の使用者が遵守すべき基準を守って、適正に使用してください。

○疾病の原因となる細菌の薬剤感受性を確認し、有効な抗菌剤を使うことが、抗菌剤を末永く使っていく上で重要です。

住所：
 電話番号：
 所属機関名：〇〇支庁・〇〇地域振興局林務水産課長 ㊦
 鹿児島県水産技術開発センター所長 ㊦
 鹿児島県水産振興課長 ㊦
 (魚類防疫員：〇〇 〇〇)
 〇〇漁業協同組合代表理事組合長 ㊦
 (魚類防疫協力員：〇〇 〇〇)

別記様式第4号

水産用抗菌剤使用指導書に関する理由書

平成 年 月 日

殿

※動物用医薬品販売業者名を記入

水産用抗菌剤使用指導書の写しを提出できない理由等は下記とおりです。

なお、養殖水産動物に抗菌剤を使用するに当たっては、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）第52条第1項で規定されている医薬品に添付されている文書又はその容器若しくは被包に記載されている事項及び動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令（平成25年農林水産省令第44号）第2条で規定されている動物用医薬品の使用者が遵守すべき基準を遵守し、適正に使用します。また、次回水産用抗菌剤を購入する際には、水産用抗菌剤使用指導書の写しを提出した上で購入します。

記

- 1 養殖業者等名：（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 印
- 2 住所：（水産用抗菌剤の使用の対象となる水産動物を養殖する施設等の住所）
- 3 抗菌剤使用指導書が提出できない理由：（予期せぬ疾病の発生等理由を記載）
- 4 使用を希望する水産用抗菌剤についての情報
 - （1）使用したい水産用抗菌剤の名称：
 - （2）水産用抗菌剤の使用の対象となる水産動物の種類：
 - （3）水産用抗菌剤の使用の対象となる水産動物の疾病：

別記様式第5号

水産用抗菌剤使用指導書に関する報告書

平成 年 月 日

鹿児島県水産技術開発センター所長 殿
※指導機関の長の氏名を記入

住所

氏名（法人にあつては，名称及び代表者の氏名）印

養殖業者等より予期せぬ疾病の発生等に対処するため緊急を要し，使用指導書の写しが提出できないとの理由書の提出があつたことから，水産用抗菌剤使用指導書を有しない養殖業者等に水産用抗菌剤を販売しましたので，理由書の写しを添付の上，報告します。